

第2期
子ども司書講座
新聞
第7号

本の紹介ポップ作成にチャレンジ!



図書館は、たくさんの人に本を読んでもらうため、いろいろな工夫をしています。特に興味をひくのは、本の案内や紹介です。本屋さんに行くと、新しく発売した本や書店さんのおすすめ本のそばに、その本を紹介する“小さな広告”があります。

これはポップと呼ばれるもので、その本の内容やおもしろさをお客さんに伝える役割があります。店員さんがキヤッチコピー（目をひくような一言）を手書きしたポップは、お客さんに大人気！本が売れる、売れないを左右することもあります。図書館でも同じようにポップを作って本の紹介をするこ

ポップの役割

図書館では、いろいろな目的でポップを利用しています。どんな種類があるか見てみましょう。

①図書館の案内	フェア、イベント、新刊本などの情報を伝えます。
②本棚を楽しくする。	飾り付けなどに利用することもあります
③読書案内	本そのものの案内です。今回みなさんがチャレンジしたものです。

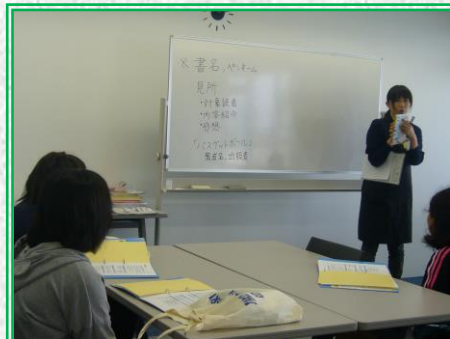
本を紹介するポップは作るだけではありません。どんな人におすすめなのか、どんな面白さがあるのか、興味をひくようなものをつくりま



ポップを作るためには、紹介したい本が決まらな

いと作れません。本は、「子ども司書講座第5回目」でみなさんに選んでいただいた本を使います。

自分で選んだ本を使って、どんなところが面白いのか？どんなところをススメたいのか？いろいろ考えてみながらポップを作ってみましょう。つぎに、どんなところに注意するか見てみましょう。



ポップの作り方！

その1:ポップに書きこむ内容

①書名・著者名・出版社	どの書籍の案内なのかわかるように、必ず書きましょう。
②どんな人におすすめか	ある特定の人に強く伝えたい場合に書きましょう。
③内容紹介	特徴や簡単な物語案内を書くと良いですよ。
④感想	おすすめする理由を相手に伝わりやすい言葉で書こう。
⑤キャッチコピー	目をひくような一言を書いてみよう。 例：「笑える本」「衝撃のラストにびっくりする！」
⑥その他	イラストを書いてみよう。ペンネームも忘れずに！

